

# 令和4年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調書

<b>I. 交付金対象事業</b>	種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input checked="" type="radio"/> 広域	<input type="radio"/> 単独
-------------------	----	------------------------------	--	-------------------------------------	--------------------------

① 国への申請事業名	イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現			
(広域連携自治体)	徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町			
② 取組内容・目指す姿	自立的で持続可能な観光地域づくり	担当課	商工観光課	
		事業期間	令和3年度～令和5年度	

## II. 事業内容

③ 本市における実施事業名	④ 事業概要
観光・イベント振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島県東部圏域の経済施策として目指すべき観光地域づくりのコンセプトと戦略の明確化とその着実な実施に取り組む。</li> <li>・ニューツーリズム推進事業を進める上で、それを支える新規事業推進・創業人材の育成に取り組む。</li> </ul>

### ⑤ 事業計画（スケジュール）及び実施結果（予算・決算額・補助金）

年度	事業計画	実施結果	予算・実績・補助金	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな旅行スタイルに対応したニューツーリズム推進事業</li> <li>・シビックプライド醸成&amp;人材育成事業</li> <li>・Webプロモーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファムツアーやモニターツアー等の実施</li> <li>・各市町村での新たなコンテンツ造成への取組</li> <li>・マイクロツーリズムの推進</li> <li>・藍のれんのある街づくり</li> <li>・観光地域づくりに関する住民意識調査の実施</li> <li>・HPやSNSの強化に加えGoogleマップへの登録</li> </ul>	当初予算額	2,240,000 円
			実績額	2,167,080 円
			補助金額	898,000 円
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツ開発・商品化</li> <li>・販売促進</li> <li>・シビックプライド醸成</li> <li>・ブランド力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーターウェイツーリズムのプログラム化、商品化</li> <li>・リアルプロモーション</li> <li>・マイクロツーリズム造成支援</li> <li>・藍のれん製作支援</li> <li>・Webプロモーションとリサーチ、データマーケティング</li> </ul>	当初予算額	2,240,000 円
			実績額	1,680,000 円
			補助金額	840,000 円

⑥ 重要業績評価指標(KPI)	単位	R4		
		基準値	目標値	実績値
1 年間観光客入込数	人	81万8千	81万	76万5千
2				
3				

### ⑦ 官民協働・自立性

徳島東部圏域が官民一体となり、自立的で継続可能な観光地域づくりを目指し、戦略的に取り組む。

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<p>ニューツーリズムの推進とシビックプライドの醸成を目的に事業展開を図っていると思われるが、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「5類感染症」に変更になったことを踏まえ、小松島市からもっと関係者との適切な連携を促すことで、観光客が徳島県を訪れるような仕組みづくりをこれまで以上に考えることが必要と思われる。</p>	外部組織による効果検証	
	B	<p>A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	C	地域連携コンテンツ開発及び販売促進を進めているも、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国外需要は低迷している。
事業効果	本事業の地方創生への効果	C	体験型コンテンツ等シビックプライド醸成による取り組みについて、地域で連携している。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	A	SWOT分析より本市単独の観光資源は限定的であることを踏まえると、東部圏域による需要獲得の取り組みは、継続していく必要がある。

#### ⑨ 有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）

# 令和4年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調査書

<b>I. 交付金対象事業</b>	種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input type="radio"/> 広域
		<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input checked="" type="radio"/> 単独

① 国への申請事業名	テレワークを活用した「地域の稼ぐ力」向上計画		
② 取組内容・目指す姿	「所得向上」「やりがいのある仕事」	担当課	商工観光課
		事業期間	令和3年度～令和5年度

## II. 事業内容

③ 本市における実施事業名	④ 事業概要		
雇用創出事業	在宅型テレワーカーの育成、雇用型テレワークの導入促進を目的とした推進機関の設置、運営。市内企業とのマッチングイベント等の開催や受け皿となる都市部企業の誘致。		

### ⑤ 事業計画（スケジュール）及び実施結果（予算・決算額・補助金）

年度	事業計画	実施結果	予算・実績・補助金	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進機関を運営する団体に対する業務委託</li> <li>・ 企業誘致に向けての課題調査・誘致促進</li> <li>・ 都市部企業へのアプローチにかかる広報経費等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレワーク推進機関の委託先決定</li> <li>・ テレワークセミナーの開催</li> <li>・ 採用マッチングイベントの開催</li> </ul>	当初予算額	8,860,000 円
			実績額	7,607,935 円
			補助金額	3,803,000 円
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進機関を運営する団体に対する業務委託</li> <li>・ 企業誘致に向けての課題調査・誘致促進</li> <li>・ 高校生に対する地元企業の紹介や職場体験の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレワーク推進機関の委託先決定</li> <li>・ 企業誘致業務の外部委託</li> <li>・ 高校生による職場見学の実施</li> </ul>	当初予算額	11,064,000 円
			実績額	8,995,112 円
			補助金額	4,497,000 円

⑥ 重要業績評価指標(KPI)		単位	R4		
			基準値	目標値	実績値
1	テレワークにおける研修参加者のうち実際にテレワークを実施した人数	人	未実施	10	10
2	テレワークに関する各種セミナーへの参加者	人	未実施	20	74
3	テレワークの利用を主目的としたコワーキングスペースの利用登録者	人	46	10	167

### ⑦ 官民協働・自立性

テレワーク推進機関となるセンターの運営を民間団体に委託し、テレワーカーのスキル向上やコミュニティの構築のほか、コワーキングスペースの周知広報による利用促進に取り組んでいる。

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<p>短時間勤務や在宅勤務など、時間や場所にとらわれない多様な働き方が新型コロナウイルス感染症を契機に広がっており、小松島市働き方支援センターの役割が一層重要となっている。</p> <p>併せて、キャリア教育に参加している学生の希望職種や雇用条件の把握に努め、地元企業との連携により、更に地元企業の魅力を伝えることが出来るように、企業側、学生側の視点に立ち、事業の充実をさせていただきたい。</p>	外部組織による効果検証	
	A	<p>A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	A	テレワークを目的とする利用登録のほか、PC作業や資格取得のための利用登録も増加しており、就業等の活動の場として活用している。
事業効果	本事業の地方創生への効果	B	本来のテレワーカー支援など人材育成に加え、個人事業者の活動等の場としてコワーキングスペースの利用が伸びており、有効な地域資源として活用できている。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	B	テレワークを主とした施設利用以外に、企業活動を支援する側面もでていることから、施設運営の継続性を図るとともに、更なる利用促進を念頭にした周知活動に取り組む必要がある。

#### ⑨有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）

# 令和4年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調査書

<b>I. 交付金対象事業</b>	種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input checked="" type="radio"/> 広域
		<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input type="radio"/> 単独

<b>① 国への申請事業名</b>	<b>通過型観光から滞在型観光への推進事業 ～小松島市・勝浦町広域連携～</b>		
<b>② 取組内容・目指す姿</b>	小松島市と勝浦町の連携による観光振興	担当課	商工観光課
		事業期間	令和4年度～令和6年度

## II. 事業内容

<b>③ 本市における実施事業名</b>	<b>④ 事業概要</b>
観光物産協議会補助	小松島市観光物産協議会を通じ、勝浦町と連携し、小松島市の観光振興を図る

### ⑤ 事業計画（スケジュール）及び実施結果（予算・決算額・補助金）

年度	事業計画	実施結果	予算・実績・補助金	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な観光商品造成及び磨き上げ</li> <li>・ モニターツアーの企画、広報</li> <li>・ 小松島市内の観光動向調査、分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験型観光商品の調査及び候補化</li> <li>・ 3商品のモニターツアーの実施</li> <li>・ アンケート調査、対面聞き取り調査、Webアンケートを実施</li> </ul>	当初予算額	7,571,000 円
			実績額	5,944,727 円
			補助金額	2,972,000 円
			当初予算額	円
			実績額	円
			補助金額	円

⑥ 重要業績評価指標(KPI)	単位	R4		
		基準値	目標値	実績値
小松島市・勝浦町の観光入り込み客数	人	1,089,739	1,100,636	993,764
小松島市・勝浦町の主要観光施設の売上高	千円	2,025,776	2,046,033	2,410,034
小松島市・勝浦町の主要宿泊施設延べ宿泊客数	人	58,956	59,926	69,924

### ⑦ 官民協働・自立性

観光商品の新規造成を勝浦町観光促進プロジェクトとの連携を軸に、観光振興を図る。

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<p>勝浦町との広域で、これまでの通過型観光を滞在型観光へと転換を図るため、体験型観光商品のモニターツアーを実施し、観光資源の開発に努めたことは評価できる。</p> <p>今後は、勝浦町との地域資源間の連携強化を図りつつ、体験型観光の充実のため、観光体験者のニーズを分析し、ターゲットを絞った情報発信等の施策を展開する必要がある。</p>	外部組織による効果検証	
	A	<p>A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	D	コロナ感染症の影響により入込数は低迷したが、令和5年5月8日より感染症法上の位置づけが「5類」に移行するため、入込数や宿泊客数の回復など、勝浦町との観光連携が進んでいくと予測される。
事業効果	本事業の地方創生への効果	C	地域資源の発掘・ブラッシュアップによる商品化の実現など、地元企業のラインアップ拡大のヒントや広告機会の確保に繋がるなど、新たな視点による取り組みが行われた。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	A	観光資源が十分とは言い難いため、近隣の自治体と連携による観光商品を提供し、地元企業の支援に繋げる必要がある。

#### ⑨有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）

# 令和4年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調書

<b>I. 交付金対象事業</b>	種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input type="radio"/> 広域
		<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input checked="" type="radio"/> 単独

<b>① 国への申請事業名</b>	子育て世代をターゲットとしたまちの魅力向上による賑わい創出事業		
<b>② 取組内容・目指す姿</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住先として市民に選ばれる「まちづくり」</li> <li>・「本港地区」の復活によるまちのにぎわい創出</li> </ul>	担当課	企画政策課
		事業期間	令和4年度～令和6年度

## II. 事業内容

<b>③ 本市における実施事業名</b>	<b>④ 事業概要</b>
まち・ひと・しごと総合戦略事業	「小松島市子育て世代応援プロジェクト」として、出会い・結婚・出産・子育て・住まいまで「切れ目ない支援」に取り組み市民に選ばれる「まちづくり」に取り組む。
本港地区活性化事業	港まちこまつしまを象徴するエリアである本港地区を「新しい小松島」の発信源とするため、基本計画の策定に取り組む。
外部人材活用事業	スポーツや芸術等の様々な分野において、専門性、技術性の高い講師を招き、講演や実技指導を通じた特色ある教育環境づくりに取り組む。
こどもの遊び場づくり事業	市立体育館メインコートを日曜・祝日に限定し、跳び箱、平均台、体操マット等を提供することで、交流の場としての活用に取り組む。
消防あそび事業	消防車両の搭乗体験、放水体験、救急体験等の消防活動を遊びとして展開する「消防あそび♪」を実施し、市民の消防に対する興味・関心を深め、防災意識の向上に取り組む。

### ⑤ 事業計画（スケジュール）及び実施結果（予算・決算額・補助金）

年度	事業計画	実施結果	予算・実績・補助金	
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代をターゲットとした、体験型学習イベントの実施</li> <li>・子育て世代をターゲットとした居心地の良い空間・時間づくりに向けたエリア全体のランドデザインの検討・策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本ワールドの開催や消防あそびなど体験型学習イベントを実施した。</li> <li>・本港地区みなとまちづくり基本構想、小松島みなと交流センターkocolo施設改修基本計画、小松島ステーションパークたぬき広場と市立図書館施設改修基本計画を策定した。</li> </ul>	当初予算額	28,736,000 円
			実績額	26,228,275 円
			補助金額	13,114,000 円
			当初予算額	円
			実績額	円
			補助金額	円

⑥ 重要業績評価指標(KPI)	単位	R4			KPI1 ※KPIの数値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」に基づき算出。基準値はR2調査からR1調査の減少数。  KPI2 ※基準値はR2の相談件数実績値。
		基準値	目標値	実績値	
1 近隣市（徳島市、阿南市）への転出者の対基準年比減少数	人	0	10	0	
2 小松島市移住交流支援センターで受け付けた相談件数	件	18	23	18	

### ⑦ 官民協働・自立性

新たな地域の担い手の発掘を行い官と民が課題解決に向けて協力して取り組むことにより、魅力あふれる「子育てしやすいまちづくり」を実現する。

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

小松島市に住み続けてもらうために、本交付金を活用し、魅力あるまちづくりに取り組んでいることは一定評価できる。 今後は、ニーズ調査をしっかりと行い、市外の方から選ばれるまちとなるよう、各事業を深化させていただきたい。	外部組織による効果検証	
	A	A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった  B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	B	様々なイベントの開催や基本構想、基本計画の策定など、市全体で「子育てしやすいまちづくり」に取り組んでいる。
事業効果	本事業の地方創生への効果	B	定住先として市民に選ばれる「まちづくり」に取り組むことで、人口減少に取り組んで行く。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	B	令和4年度から「子育て世代応援プロジェクト」と題して、子育てしやすいまちづくりに取り組んでおり、引き続き、取り組んでいく必要がある。

#### ⑨有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）